

広島県のキジラミ類（半翅目：キジラミ上科）

井上 広光・山内 健生

Jumping plant-lice (Hemiptera: Psylloidea) of Hiroshima Prefecture

Hiromitsu INOUE and Takeo YAMAUCHI

比和科学博物館研究報告 第40号 別刷 (2001年3月)

Reprinted from Miscellaneous Reports of the Iiwa
Museum for Natural History no. 40 (March., 2001)

広島県のキジラミ類 (半翅目 : キジラミ上科)

井上 広光¹⁾・山内 健生²⁾

Jumping plant-lice (Hemiptera: Psylloidea) of Hiroshima Prefecture

Hiromitsu INOUE¹⁾ and Takeo YAMAUCHI¹⁾

Abstract : So far at least 140 species of the jumping plant-lice, or insects of Psylloidea, have been known from Japan, but their detailed, distributional information has never been so much given in the prefectural level. In Hiroshima Prefecture, the almost westernmost Honshu, only nine species of Psylloidea have been recorded until now.

In the summer of 2000, nearly 300 individuals of Psylloidea were collected mainly at light trap in several places of the prefecture. They consisted of 22 species belonging to eight genera of three families. Thirteen species are recorded from the prefecture for the first time, and some other species are considered to be new species.

In this report, the species of Psylloidea collected from Hiroshima Prefecture in 2000 are listed together with some distributional information and comments.

Key words : Psylloidea, Hiroshima Prefecture

はじめに

キジラミ類はコナジラミ類やアブラムシ類に近縁な小形の半翅目昆虫で、幼虫・成虫ともに植物から吸汁するため、農林業上の害虫とされる種も少なくない。日本からはこれまでに少なくとも140種以上が知られているが、小形で一般には注意を引きにくいいため、都道府県レベルでの分布状況の解明はまだ十分ではない。広島県からは宮武(1977)による7種のまとまった報告を含めて、これまでに9種が記録されているにすぎない。

1) 812-8581, 福岡市東区箱崎6-10-1 九州大学大学院生物資源環境科学府昆虫学教室 (Entomological Laboratory, Graduate School of Bioresource and Bioenvironmental Science, Kyushu University, Hakozaki, Fukuoka, 812-8581 Japan)

2) 810-8560, 福岡市中央区六本松4-2-1 九州大学大学院比較社会文化学府生物体系学教室 (Biosystematics Laboratory, Graduate School of Social and Cultural Studies, Kyushu University, Ropponmatsu, Fukuoka, 810-8560 Japan)

Contribution from the Entomological Laboratory, Faculty of Agriculture, Kyushu University, Fukuoka (Ser. 5, No. 54)

2000年夏、広島県各地で主に灯火採集によって得られたキジラミ類標本を調査したところ、多くの広島県未記録種が見出されたので以下に報告する。今回の調査で得られたのは未同定種も含めて計22種であり、既知種18種のうち13種は県下初記録であった。なお、2種は明らかに未記載種と思われ、近い将来に記載発表予定である。

得られた種は低地性種から山地性種まで多岐に渡り、調査地のさまざまな標高を反映していた。なかでも、これまで本州中部山地のみから知られていたウワミズザクラキジラミ *Psylla morimotoi* MIYATAKE が県下の北部山地で発見されたことは興味深く、本州中部以北に分布する他の北方系種が中国山地にも分布していることを窺わせる。なお、過去に記録のある種のうち、トロエンキジラミ *Psylla troenensis* KUWAYAMA (呉市; Miyatake, 1964) とミドリトガリキジラミ *Trioza magna* KUWAYAMA (比和町; 宮武, 1977) の2種は得られなかった。今回の調査は場所、期間、採集法ともに偏っており、不十分なものである。本県下には、まだ多数の他の種が分布しているものと推測され、さらなる調査が望まれる。

なお、Ossiannilsson (1992) によるキジラミ科の属の取り扱いに従えば、日本産 *Psylla* 属の大半の種(本報文中では7~18番の種に相当)は *Cacopsylla* 属に所属することになる。それらのうち、国外にも産する種の一部はすでに所属の変更が行われているが、多くの日本固有種については詳細な検討がなされていない。今後、日本産 *Psylla* 属全種について所属の検討を行う予定であるが、本報文中では混乱を避けるためにそれらをすべて *Psylla* 属として扱った。

すべての採集は山内が、同定は井上が行なった。標本の大部分は比和町立自然科学博物館に保管され、一部は井上が保存している。原稿を精読され、有益な御助言をいただいた九州大学大学院の湯川淳一教授、大阪青山短期大学の宮武頼夫教授、さまざまな便宜をはかっていたいただいた庄原市の中村慎吾博士、採集に協力していただいた比和町教育委員会の垣内秀孝氏、広田昭吉氏、森繁光晴氏、比和町の森長幸雄氏、岸田育美氏、及び広島虫の会の諸氏に厚くお礼申し上げる。

採集地(標高)

- ・広島市安佐北区 高松山(約100m)
- ・比婆郡比和町 比和(約500m)
- ・佐伯郡吉和村 中津谷(約700m)
- ・比婆郡比和町 烏帽子山(約1,000m)
- ・ 〃 吾妻山(約1,000m)
- ・比婆郡高野町 大万木山(約1,000m)

Calophyidae ヒメキジラミ科

1. *Calophya nigradorsalis* KUWAYAMA, 1908 セグロヒメキジラミ (広島県初記録)

広島市高松山(♂2♀, 6.VIII.2000).

日本全土に普通。ごく小形の種で、頭・胸部は黒色、腹部は黄色。寄主植物はウルシ科のウルシ、ヌルデなどが知られる。

Psyllidae キジラミ科

2. *Accizia jamatonica* (KUWAYAMA, 1908) ヤマトキジラミ (広島県初記録)

比和町比和 (8♂8♀, 9.VIII.2000), 高野町大万木山 (1♀, 12.VIII.2000).

北海道~九州, 国外では韓国に分布. 小形で, 夏型は黄~黄緑色, 秋型は濃褐色で前翅も褐色を帯びる. 寄主植物はネムノキ (マメ科). 平地~低山地に普通. なお, 太田川で1993年に実施された河川水辺の国勢調査の際, 広島市今井田 (太田川 st.4) で採集された標本約200個体 (22.VII.1993, 中村採・宮武同定) が比和町立自然科学博物館に保存されている.

3. *Accizia sasakii* (MIYATAKE, 1963) ヒゲナガヤマトキジラミ (広島県初記録)

比和町比和 (1♂, 9.VIII.2000), 高野町大万木山 (1♂1♀, 12.VIII.2000; 29♂22♀, 12.VIII.2000, at light).

本州, 四国, 国外では韓国に分布. 前種に似るが, やや大きく, 触角が著しく長い (頭幅の約2倍) 点で容易に区別できる. 寄主植物はネムノキ (マメ科). 山地に多く, 前種と混生する.

4. *Anomoneura mori* SCHWARZ, 1896 クワキジラミ (広島県初記録)

比和町比和 (1♂, 13.VIII.2000, at light).

北海道~九州, 国外では韓国に分布. 大形の種. 成熟個体は褐色で, 前翅にも多数の褐色斑をもつ. 径分脈 Rs が多数の分枝をもつ特異な翅脈で, 日本産の他のキジラミとの区別は容易. 幼虫はクワ (クワ科) の大害虫として知られる.

5. *Cyamophila hexastigma* (HORVATH, 1899) ムツボシキジラミ (広島県初記録)

吉和村中津谷 (10♂11♀, 22.VIII.2000, at light).

北海道~九州, 国外では韓国, 中国北部, シベリアから知られる. 中形種で, 著しく長い触角 (頭幅の2.5倍) をもつ. 寄主植物はイヌエンジュ (マメ科) などが知られる. 今回広島県から得られた個体は, 前翅後縁の褐色斑が目立たず, 再検討の必要がある.

6. *Psylla morimotoi* MIYATAKE, 1963 ウワミズザクラキジラミ (広島県初記録)

吉和村中津谷 (1♂, 22.VII.2000, at light), 高野町大万木山 (1♂, 12.VIII.2000, at light).

本州に分布. 中~大形で淡黄緑色. 前翅はやや黄色を帯びる. 顕著に長い触角 (頭幅の約2.4倍) をもつ. 寄主植物はウワミズザクラ (バラ科). これまで本州中部山地のみから知られていた.

7. *Psylla abieti* KUWAYAMA, 1908 トドキジラミ (広島県初記録)

吉和村中津谷 (1♂[縁紋型] 1♀[黄色型], 22.VIII.2000, at light).

北海道~九州に分布. 中形で褐色. 本種の前翅の色彩には同所的に2型 (縁紋型, 黄色型) が知られるが (Miyatake, 1969), 広島県においても両型が確認された. 寄主植物はカエデの一種 (カエデ科) が知られる. 山地に多い.

8. *Psylla albigena* MIYATAKE, 1964 ホオジロキジラミ

吉和村中津谷 (21♂13♀, 22.VII.2000, at light), 高野町大万木山 (1♀, 12.VIII.2000, at light).

本州に分布. 中形で, やや淡い赤色の体に白色斑をもち, 脛節や頭部額錐は白色. 寄主植物はゴマキ, ヤブデマリ (スイカズラ科) が知られる. 山地に多い.

9. *Psylla albovenosa* KUWAYAMA, 1908 シロスジキジラミ
比和町烏帽子山 (1♂, 14.VIII.2000).
本州, 四国, 九州に分布. 中形で, 赤褐色の体に多数の白色斑をもつ. 前翅は褐色で翅脈のみ白色. 寄主植物はズミ (バラ科) が知られる. 山地に多い.
10. *Psylla coccinea* KUWAYAMA, 1908 ベニキジラミ (広島県初記録)
比和町比和 (1♀, 10.VIII.2000, at light).
北海道~奄美大島, 国外では韓国, 台湾に分布. やや小形で, 体は明るい赤色. 寄主植物はアケビ (アケビ科) など. 平地から低山地に普通.
11. *Psylla fatsiae* JENSEN, 1957 ヤツデキジラミ (広島県初記録)
吉和村中津谷 (5♂4♀, 22.VII.2000, at light), 比和町烏帽子山 (1♂, 14.VIII.2000).
本州西半, 四国, 九州; 台湾に分布. 韓国, カリフォルニア (USA) の記録は寄主の移入による. 中形で, 赤褐~淡褐色. 寄主植物はヤツデ (ウコギ科). 羽化後寄主を離れて分散することが多い.
12. *Psylla fulgularis* KUWAYAMA, 1908 イナズマキジラミ (広島県初記録)
広島市高松山 (1♂, 6.VIII.2000).
本州西半部以南, 国外では韓国, 台湾, フィリピンに分布. 中形で褐色. 前翅は濃褐色で, 後縁に三角形の透明部分がある. 寄主植物はツルグミ (グミ科) など. 低地の照葉樹林に多い.
13. *Psylla japonica* KUWAYAMA, Jr., 1955 カエデキジラミ
比和町烏帽子山 (1♂1♀, 16.VII.2000; 1♂1♀, 14.VIII.2000), 比和町吾妻山 (2♀, 15.VII.2000, at light; 1♀, 8.VIII.2000).
北海道~九州に分布. 中形で赤褐色. 前翅は褐色半透明で外縁に濃色の帯状紋をもつ. 寄主植物はウリハダカエデなどカエデ類 (カエデ科). 山地に普通.
14. *Psylla melanoneura* FÖRSTER, 1848 クロスジキジラミ (広島県初記録)
吉和村中津谷 (3♂13♀, 22.VII.2000, at light).
北海道~九州, 国外ではヨーロッパから中国北部までの旧北区冷温帯域に広く分布. やや小形で, 褐色の体に濃色斑をもつ. 前翅はやや白くもり, 翅脈は褐~黒色. 寄主植物はサンザシ類 (バラ科) が知られる. 山地に多い.
15. *Psylla* sp. 1
吉和村中津谷 (23♂38♀, 22.VII.2000, at light).
宮武・薄葉 (1997) により本州から報告された, ヤドリギ (ヤドリギ科) を寄主とする種と思われる. 種名はヨーロッパに産する *Psylla visci* CURTIS をあててもよいが, 当地産の標本と比較しておらず, 決定は保留しておく.
16. *Psylla* sp. 2
吉和村中津谷 (4♂10♀, 22.VII.2000, at light), 高野町大万木山 (1♂, 12.VIII.2000, at light).
ベニキジラミ *Psylla coccinea* によく似るが, ♂♀ともに触角の長さ, 交尾器の形態などが異なる未記載種である. 英彦山 (北部九州) の標高800m 付近でも採集されている (井上, 未

発表). いずれの地でも山地から得られており, 低標高地に分布するベニキジラミと標高によってすみ分けているのかもしれない.

17. *Psylla* sp. 3

吉和村中津谷 (4♂4♀, 22.VII.2000, at light).

シコクベニキジラミ *Psylla midoriae* MIYATAKE によく似るが, 体・翅ともにより濃色で, 交尾器形態も異なる未記載種である. やはり英彦山の標高800m付近でも得られている (井上, 未発表).

18. *Psylla* sp. 4

吉和村中津谷 (1♀, 22.VII.2000, at light).

リングキジラミ *Psylla mali* (SCHMIDBERGER) に比較的似ているが, 明らかに小形で, 交尾器等の形態も異なる. 少なくとも日本産に該当種は見当たらないが, ♀1個体のみのため, 種名の確定には至っていない. 未記載種の可能性もある.

Triozidae トガリキジラミ科

19. *Petalolyma bicolor* (KUWAYAMA, 1910) ネグロキジラミ

広島市高松山 (1♀, 6.VIII.2000).

本州, 四国, 九州に分布. 台湾からも古い記録がある. 中~大形で黒褐色. 前翅は基部4分の1のみ黒褐色. 寄主植物はナナメノキ (モチノキ科) など.

20. *Triozia esakii* MIYATAKE, 1975 クロバイトガリキジラミ (広島県初記録)

吉和村中津谷 (8♂6♀, 22.VII.2000, at light).

本州, 九州, 八重山群島に分布. 中形種. 体色の変化が著しく, 羽化直後は淡緑色, 成熟するにつれて淡い黄赤色となり, 越冬後は濃褐色に変化する. 寄主植物はクロバイ (ハイノキ科).

21. *Triozia nigra* KUWAYAMA, 1910 クロトガリキジラミ

吉和村中津谷 (2♀, 22.VII.2000; 1♂2♀, 22.VII.2000, at light), 比和町吾妻山 (1♂, 8.VIII.2000; 1♂, 27.VIII.2000).

日本全土, 国外では韓国に分布. 中形で光沢のある黒色. 寄主植物はエゴノキ (エゴノキ科). 平地から山地に普通.

22. *Triozia chenopodii* REUTER, 1876 アカザトガリキジラミ (広島県初記録)

比和町吾妻山 (1♂, 8.VIII.2000).

本州西半, 四国, 九州; 旧北区温帯域に広く分布. 小形で光沢のある黒色. 前翅はやや黄色を帯びる. 翅長などの形態に季節的2型が知られる. 寄主植物はアカザ, シロザ (アカザ科).

引用文献

Miyatake, Y. 1964. A revision of the subfamily Psyllinae from Japan. II (Hemiptera: Psyllidae). J. Fac. Agr. Kyushu Univ., Fukuoka, (13): 1-37.

Miyatake, Y. 1969. On the Psyllidae from Niigata Prefecture, North Honshu, Japan I

(Hemiptera). Bull. Osaka Mus. Nat. Hist., Osaka, (22): 63-83.

宮武頼夫. 1977. 広島県比和町の同翅半翅類 (I). 比和の自然 (比和町郷土史研究会): 239-246.

宮武頼夫・薄葉重. 1997. ヤドリギに寄生する日本未記録のキジラミ. 日本昆虫学会第57回大会講演要旨 (日本昆虫学会九州支部): 8.

Ossiannilsson, F. 1992. The Psylloidea (Homoptera) of Fennoscandia and Denmark. Fauna Ent. Scand., (26): 1-346.